

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 4名回答、回答率 100%
保護者様： 17名回答、回答率 85%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・死角に配慮した職員の配置を行っている。
- ・集団療育に合わせて机や椅子を移動し、常に生徒同士安全に活動できるスペースをとれるようにしている。

○業務改善

- ・職員間で偏りがないよう業務分担を行っている。
- ・お子様の利用前後にミーティングを行うことが難しい事があった。
 - ・日々利用するお子様を適切に把握し、正確な記録の記入をスタッフ全員で意識・実行できていた。

○適切な支援の提供

- ・個々の生徒の特性を把握し、それに合わせた療育内容を企画し、実行している。
- ・保護者のニーズも聞き、課題に合わせた生徒に対する支援を行っている。
- ・長期休暇、平日等の時間、生徒の体調に合わせて課題の設定を行っている。

○関係機関や保護者との連携

- ・療育参観を実施し、日々の支援や生徒の様子を保護者の方に知ってもらうことが出来た。
- ・保護者会を行っていない。
- ・近隣の小学校や市役所等にチラシを配布し、当事業所について周知することが出来た。

○保護者への説明責任等

- ・送迎時におけるフィードバックの時間や、家庭連携支援を通し教室での生徒の様子だけでなく、自宅や学校での様子を共有することが出来た。
- ・個人情報扱いについてミーティング等で周知し、徹底することが出来た。

○非常時等の対応

- ・毎月1回避難訓練に取り組み、またその様子を保護者とも共有している。
- ・虐待防止研修を実施し、日々の支援に役立てている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・職員の配置数・専門性について多くの保護者様にご満足頂けている。
- ・活動スペースについては、運動を行う際に十分なスペースの確保が難しいのではというご意見があった。運動を行う際に机や椅子を端に寄せるなど活動内容に合わせたスペースの確保に取り組んでいく。

○適切な支援の提供

- ・活動プログラムが固定化されないよう工夫されているかについて、概ね高評価を頂いている。
- ・生徒と保護者様のニーズや課題が客観的に分析されたうえ放課後等デイサービス計画がなされているかについては多くの保護者様にご満足頂けている。

○保護者への説明等

- ・支援の内容や利用者負担について適切な説明がなされているかについては多くの保護者様にご満足頂けている。
- ・保護者様同士の連携についての機会がコロナ禍以降少ないことが残念とのお声を頂いた。療育参観も実施したが、多くの保護者様の参加が課題であったので、早くに周知し、どの保護者様にも参加して頂けるよう工夫していく。

○非常時等の対応

- ・毎月避難訓練を実施していることもあり、多くの保護者様に非常災害の発生に備えて、定期的な訓練を行っているかについてご満足頂けている。

○満足度

- ・保護者様から16件中16件「満足」とご回答頂いた。子どもの通所満足度は13件「満足」とご回答頂いた。今後より多くのご利用者様に満足頂けるよう、個々の生徒に合った活動や個別課題を提供していく。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・送迎等で相談や面談などを通してお話を聞く機会を増やしていく。また自己入退室のご利用者様とも面談していく機会を設定していく。
- ・他事業所や関係機関との共有の場がある際には、積極的に参加をする。
- ・祝日等の特別プログラムの立案・振り返りを強化し、目標数に達しなかった場合には分析をし、今後の対策を教室の職員全体で考える。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・送迎の際には積極的に相談に乗り、結果として多くの保護者様にご満足頂いた。自己入退室の保護者様とは直接お会いしてお話をする機会が少なかったため、お電話等で繋いでいくようにしていきたい。
- ・祝日等のプログラムについて職員全員で考えて立案したこと、また感染症が5類に下がったことで調理活動や課外活動等幅広く行えるようになったことで多くの方にご利用頂くことが出来た。今後もお利用者様のニーズを把握し、よりご利用頂けるプログラムを計画する。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・保護者様のニーズ。生徒の課題に合わせた放課後等デイサービス計画の策定また集団療育、個別課題の設定。
- ・保護者様と生徒や教室のことについての密な情報共有。
- ・非常災害の発生に備えて実践的な訓練を実施し、またそれを保護者様にも周知している。

○改善点

- ・保護者様との相談の内容の共有と生徒への支援対応についての職員間でのミーティングの頻度が少なかったため、来室前・来室後のミーティングの頻度を改善し、情報や支援の方向性の共有を強化していく。
- ・コロナ禍ということもあり、保護者様同士が関わる機会を作ることが出来なかった。今後保護者会等を通じて保護者様同士が関わる機会を作りながら、教室での様子や取り組みを共有していく。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・保護者会・療育参観の充実を図り、保護者様により開かれた教室の運営を目指す。
- ・職員間での保護者様・生徒についての情報共有の強化

○1年間で取り組む具体策

- ・送迎時だけでなく、事業所内での生徒の様子を見て頂くことを目的として実際に教室に来ていただけるような場を設定し、保護者様のニーズを聞き取りながら密な連携を図っていく。
- ・ミーティングの時間について改善・強化をし、保護者からの情報や生徒の支援の方向性を共有し、より充実した支援を還元できるようにしていく。